

## 仮 使 用 願 い

当ローリー充填所では、屋外タンク貯蔵所（V-391・V-392）に貯蔵された製品のエピクロルヒドリンを出荷用ポンプ（P-391・P-392）により出荷しております。

当充填所では、エピクロルヒドリンのコンテナ牽引タイプローリーへの充填作業の安全対策として屋根の嵩上げと拡張工事を実施致しました。

実施に際して自動火災警報装置の設置についてご指導を頂きました。

今回、自動火災警報装置機器の納入に伴い設置工事を計画しております。

本工事期間中、本来ならば当ローリー充填所の充填作業を中止して工事を実施すべきではありますが、全期間の出荷を止めることは難しく、工事期間中の出荷を実施せざるを得ません。

なお、機器設置に際して現場での火気作業は行いません。

工事に当たりましては、安全に十分配慮致しますので、仮使用のご承認を頂きたくお願い申し上げます。

- 記 -

- （仮使用設備） E C Hローリー充填所
- （申請期間） ご許可後 ~ 完成検査完了まで
- （概略工事内容） 自動火災警報装置設置工事

## 工 事 中 の 安 全 対 策

- 1 . 工事着工前に環境保安部及び当課の安全担当者は施工関係者並びに工事担当者に安全教育を行い、管理体制を明確にし連絡体制を徹底して工事の安全を図ります。
- 2 . 工事中は立会者を置き、周囲の安全に十分留意して行い、終了時には残材の後かたづけをして安全な状態を保持致します。
- 3 . 充填作業は2回/日程度であり、充填中は工事作業を中断します。

尚、プラントの既設の消火設備はいつでも使用可能です。